

熱海土木 工事事故防止 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

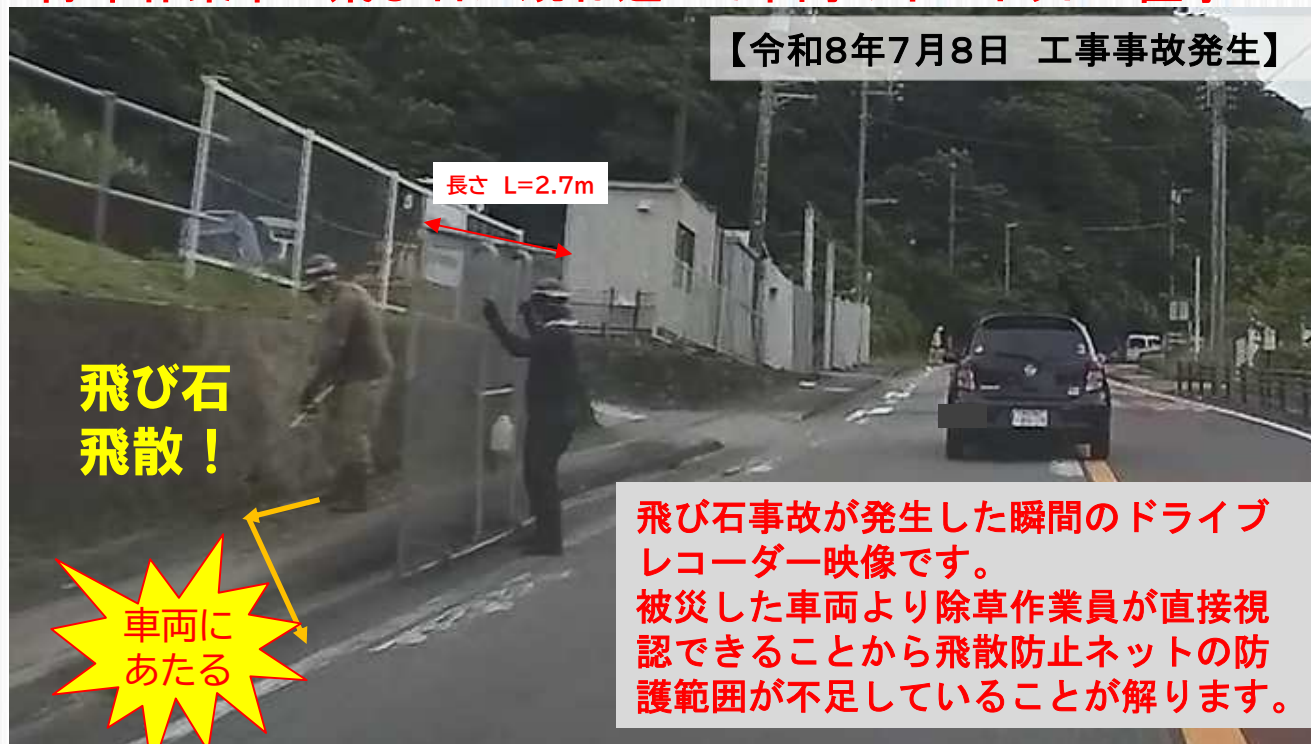
2026.7

1号

令和8年7月に発生した(主)熱海函南線での飛び石事故の紹介です。飛び石事故は、令和3年度から熱海土木事務所管内で連続して発生しています。

今後も工事事故事例や事務所独自の取組など情報を発信し、工事事故の防止を図っていきますので、よろしくお願いします。

除草作業中に飛び石が跳ね返って車両のボンネットに直撃！！



事故概要

飛散防止用ネットを設置し肩掛け式の草刈り機を使用して除草作業を行っていた。飛散防止ネットの横脇から石が飛散し、通行車両(函南方面へ走行)のボンネットを破損(塗装の剥がれ)した。

事故原因

原因①

跳ね返りなどがある場所では、一般的に使用されている飛散防止ネットの幅では防護範囲が不足していた。

原因②

除草前に小石等の障害物除去を行っていたが、堆積した草に隠れている部分まで除去ができなかった。

熱海土木 工事事故 発生件数	事故 分類	工事関係 者(傷害)	第三者 (傷害)	第三者 (物損)	工事事故 合計	令和8年 7月末 現在
	件数	0件	0件	1件	1件	

再発防止策

再発防止策①

飛散防止用ネットは石が飛びそうな方向や角度を考慮して設置する。跳ね返りがあると予想される場所はコの字型の飛散防止ネットに替える。

再発防止策②

小石等の障害物の除去が困難な場所は、飛散しにくいバリカン式草刈り機を使用する。

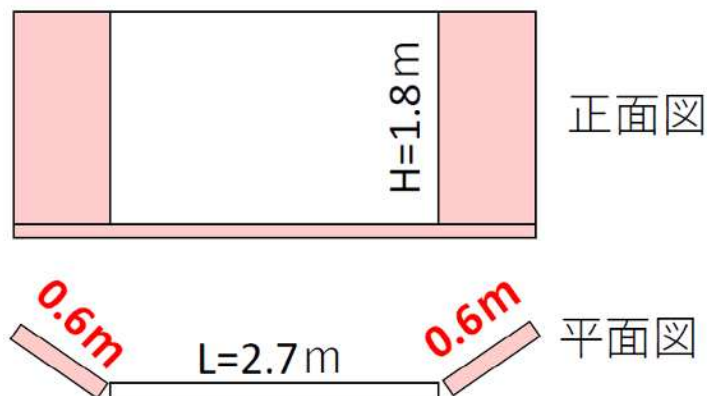
再発防止策③

上記に合わせ、全作業員に飛石に関する教育を行い、飛石対策を徹底する。

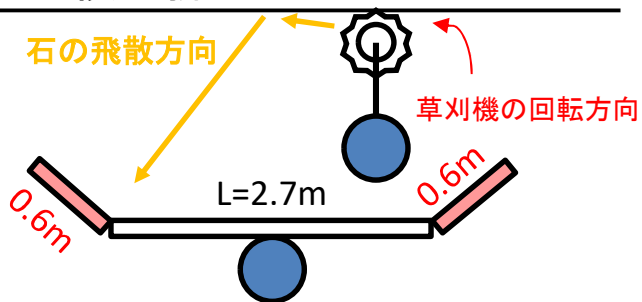
再発防止策イメージ（コの字型飛散防止ネット）



コの字型飛散防止ネット(ピンク色部分を追加)



石積や擁壁での跳ね返り



石が飛びそうな方向を考慮して設置する

バリカン草刈り機の使用



上下の刃が逆回転しハサミ構造になるため
飛散しにくい